

講義科目名称： 小児看護学Ⅱ

授業コード： 2230200600

英文科目名称： Child and Family Health NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員			
◎大久保明子、◎山田恵子、野澤祥子、小林宏至			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期 【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 【研究室】</p> <p>◎大久保 明子 207</p> <p>◎山田 恵子 215</p> <p>野澤 祥子 共同研究室1</p> <p>小林 宏至 共同研究室1</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p>○ ◎ ○</p>
------	---

到達目標	<p>1. 健康問題が子どもと家族に及ぼす影響について説明できる。</p> <p>2. 小児期に特徴的な疾患や症状についての病態生理とその看護援助が理解できる。</p> <p>3. 子どもの成長発達と生活を考慮し、さまざまな健康レベルにある子どもと家族に必要な看護について説明できる。</p>
------	--

授業概要	<p>授業開始時に個人の事前学習状況（小児期に特徴的な疾患の病態や治療など）を確認する。</p> <p>小児看護学Ⅰで学んだ健康な子どもの成長発達を軸として、病気や障がいをもつ子どもとその家族への看護援助について学ぶ。</p>
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：健康問題をもつ子どもと家族の看護 学習内容：・子どもの病気理解 ・子どもの療養環境 ・入院および外来における子どもと家族の看護 備考：大久保</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：子どものフィジカルアセスメントと与薬方法 学習内容：・発達段階別コミュニケーション技術 ・子どものフィジカルアセスメント ・子どもの与薬 備考：野澤</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：感染症に罹患した子どもと家族の看護 学習内容：・主なウイルス性疾患、熱性けいれん、髄膜炎、腰椎穿刺 ・発熱・発疹のある子どもの看護 備考：山田</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：呼吸器系疾患・アレルギー疾患をもつ子どもと家族の看護 学習内容：・気管支喘息の子どもと家族の看護 ・呼吸困難のある子どもの看護 ・食物アレルギーをもつ子どもの看護 備考：大久保</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器系疾患をもつ子どもと家族の看護 学習内容：・ファロー四徴症、川崎病の子どもと家族の看護 ・チアノーゼのある子どもの看護 備考：野澤</p>
------	--

	6	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：腎・泌尿器疾患をもつ子どもと家族の看護 学習内容：・尿路感染症、急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群の子どもと家族の看護 ・浮腫のある子どもの看護</p> <p>備考：山田</p>
	7	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：内分泌・代謝性疾患をもつ子どもと家族の看護 学習内容：・先天性代謝異常、1型糖尿病、低身長の子どもの看護 ・低血糖、高血糖の子どもの看護</p> <p>備考：山田</p>
	8	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：神経系の疾患をもつ子どもと家族の看護 学習内容：・てんかん、脳性まひ、二分脊椎、筋ジストロフィーの子どもと家族の看護 ・意識障害・けいれんのある子どもの看護</p> <p>備考：山田</p>
	9	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：救急処置を必要とする子どもと家族の看護 学習内容：・気道内異物、消化管異物、熱傷、熱中症の子どもの看護 ・子どものCPRとAED</p> <p>備考：山田</p>
	10	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：運動器疾患・消化器疾患をもつ子どもと家族の看護 学習内容：・先天性股関節脱臼、脊柱側彎症、上腕骨折の治療と看護 ・口唇口蓋裂・急性胃腸炎の子どもと家族の看護 ・嘔吐・下痢・便秘・脱水の看護</p> <p>備考：大久保</p>
	11	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：主な小児外科疾患と手術を受ける子どもと家族の看護 学習内容：・小児外科の特徴と主な小児外科疾患と治療 ・急性虫垂炎で手術を受けるの子どもの看護</p> <p>備考：大久保</p>
	12	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：こころのケアが必要な子どもと家族の看護 学習内容：・心身症、発達障害の子どもと家族の看護 ・虐待を受けた子どもと家族の看護 ・被災した子どもと家族の看護</p> <p>備考：小林（宏）</p>
	13	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：ハイリスク新生児と家族の看護 学習内容：・新生児疾患、染色体異常をもつ子どもと親の障害受容 ・保育器の取り扱い ・Developmental Care ・Family Centered Care</p> <p>備考：小林（宏）</p>
	14	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：小児がんの子どもと家族の看護 学習内容：・小児がんの特徴 ・抗がん剤の治療を受ける子どもと家族の看護 ・終末期にある子どもと家族の看護</p> <p>備考：大久保</p>
	15	<p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：在宅療養中の子どもと家族の看護 学習内容：・慢性疾患が子どもに与える影響と看護 ・成人移行期支援 ・医療的ケア児</p> <p>備考：大久保</p>
事前・事後学習		<p>事前学習：臨床病態学Ⅳ 小児（1）～（4）、および小児看護学Ⅰを復習する。 学修内容について、テキストの該当箇所を予習する。 事後学習：各講義内で示された課題についてまとめる。</p>
評価方法、評価基準		<p>筆記試験（中間試験50%、最終試験50%）で、到達目標1～3の到達度を評価する。 中間試験：1～8回までを試験範囲とし、1～8回の間に2/3以上（6コマ以上）の出席がある者は受験資格がある。 最終試験：9～15回までを試験範囲とし、1～15回の間に2/3以上（10コマ以上）の出席がある者は受験資格がある。</p>
必携図書		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [1] [2] 医学書院
参考図書・資料等		授業開始時にハンドアウトの資料を配布する。参考資料は適宜提示する。

受講、課題、資料 配布等のルール	初回の講義ガイダンスで詳細について説明する。 20分以上の遅刻や、20分以上の退出は欠席とする。
教員からのメッ セージ	子どもの頃に病院を受診した体験などを思い出しながら、病気をもつ子どもと家族への看護について学びを深 めていきましょう。
オフィスアワー	